

寒 夜須八幡宮の百手祭
空を突き抜く祈念の矢

1月22日(金)・23日(土)の両日、夜須町夜須八幡宮で百手祭が執り行われました。

高知県の三大弓行事のひとつとされている百手祭は、約800年の歴史がある破魔招福・大願成就を祈念する祭り。12人の射手が2組に分かれ約30メートル先の的を狙い、2日間で約1,200本の矢を射ます。

放たれた矢がみごとの的に当たると、太鼓が打ち鳴らされ、訪れた大勢の観客からは歓声があがっていました。

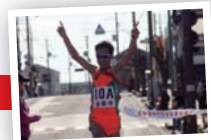


▲数多く矢を射ますが、常に集中しての的を狙います

6 第64回高知県市町村対抗駅伝競走
連覇を達成しました!

室戸市から安芸市までの46.5キロメートルを8区間に分け、県内の市町村代表が競い合う第64回高知県市町村対抗駅伝競走が1月31日(日)に開催され、香南市から参加した「香南市A」が優勝し、大会連勝記録に並ぶ6連覇を達成しました。

レースは1区から4区の前半、「香南市A」は2位でゴール。全走者が一斉に再スタートした5区から8区の後半では1位でゴール。前半と後半のタイムを合計する総合タイムで、2位の「南国市A」と1分25秒差をつけ優勝を果たしました。



▲香南市チーム。「香南市B」は4位、「香南市C」も6位と好成績でした

ま やす公民館図書館クラブが紙芝居を作成
まちの昔話が紙芝居に

夜須町の読み聞かせグループ「やす公民館図書館クラブ」が夜須町に伝わる昔話を題材に手作り紙芝居を作成、2月5日(金)夜須小学校で児童に読み聞かせを実施。児童たちは、自分たちのまちに伝わる昔話に興味津々でした。

紙芝居は、同クラブが昔話2編の内容とせりふを紙芝居用にまとめ直し、絵も夜須中学校の生徒などの協力を得ながら、計21枚を4カ月かけて作成しました。

紙芝居は増刷し、夜須中央公民館などに寄贈される予定です。



▲「夜須にそんな昔話があったがや!」と聴き入る児童たち

百 旧正風揚げ大会
豊の大風、大空へ

2月11日(祝)野市ふれあい広場で旧正風揚げ大会が開催されました。午前中から舞い上がった風から景品券を落とす「とばし」が行われ、多くの家族連れが景品券を手にとろうと広場を駆け回りました。

午後からは「百豊風」が登場。主催する野市町土佐風保存同好会の指導のもと、合図で約60人が一斉にロープを引くと約150キログラムもある大風が風を受け、ゆっくりと空へ上がりました。

詰めかけた観客は「大きい!」と歓声をあげたり、写真に収めたりしていました。



▲「ひっばれー!」掛け声とともに全員で走ってロープを引きます

「18歳からの選挙」
城山高校選挙出前授業

問い合わせ
選挙管理委員会 ☎57-8525



平成27年6月に公職選挙法が改正され、今年夏の参議院選挙から選挙権年齢が20歳から18歳に引き下げられる予定です。

そこで、満年齢18歳になった高校生にも、選挙の仕方や公職選挙法のルールなど、選挙に関する正しい知識を身につけてもらおうと、県内の高等学校で出前授業が開催されています。

2月2日(火)には県立城山高等学校で選挙出前授業が実施され、講義や模擬投票などを1年生から3年生までが体験しました。

投票と選挙運動を学習

講義では選挙権年齢が引き下げられた背景や、選挙の種類や時期、投票するためにどのような権利者の情報を得るのかなどを学びました。

また18歳から行える選挙運動については、可能な期間や方法を学習。なかでも、インターネットを活用した選挙運動では、電子メールを利用した運動は違法で、ラインやツイッターなどソーシャルネットワークやキングサーブ(SNS)を利用した運動は合法と説明され、生徒たちは少し戸惑った様子で話を聞いていました。

右/模擬選挙の候補者。政策を発表し有権者となる生徒に政策を訴えました。
左上・左下/記載台で候補者名を記載する生徒と投票箱へ投票する生徒。実際の選挙で使用している機材を使って模擬投票を行いました。

模擬投票を終えて
～生徒の意見・感想～

- 選挙にはいろいろな人の協力と、たくさんのお金がかかっているの、しっかり投票しなければいけないと思いました。
- 私たちの意見を反映させるためにも一人ひとりの一票が大切だと思いました。
- 僕が18歳になったら、自分のためにも、国のためにも、しっかり投票に行きたいと思う。
- 政治が思ったより、身近にあると思った。
- 自分たちが投票し、政治に参加し、自分たちで地域を変えていかなければいけない。
- 政治の知識がなくて投票するのは不安。
- 今まで政治には無関心だったけれど、今日の授業を受けて政治にかかわる気持ちが変わりました。
- ただ、年を取るのではなく、心の方を変えていかなければいけない年齢に僕たちはなっていると思います。
- 一票の重みは未来に響く、真剣に取り組みたい。

候補者への一票

模擬投票では知事選を模して行われ、生徒から2人が立候補。自分が知事になったらどうするか、地震対策や少子化対策など具体的な政策を発表し、有権者となった生徒たちはそれを判断材料にして、投票を行いました。

どちらの候補者にするか悩み投票する姿はさながら本当の選挙のようでした。

このような出前授業を通して、生徒たちは選挙に関する知識だけでなく、自分たちが1票を投じることで、政治に参加することの大切さを学びました。



▶開票作業も生徒が実施しました